

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

武雄市立武雄小学校（佐賀県）

## 【取組内容②】 動画教材から必要な情報を取り出し、課題解決をはかる授業実践

自閉情緒学級 1年自立活動（こまったときのアイテムをゲットしよう）

- ・単元の導入時に、単元全体の学習計画やゴールを示したワークシートを使用した。各時間の学習のめあてと活動を自己選択できるようにした。（図1）ふりかえりシートの記入により、学習の見通しを持たせ、学習の足跡を残すことができた。
- ・獲得させたいソーシャルスキルのモデリングのために、ペープサートを利用した動画を作成した。これを児童が視聴し、自分がやってみたいと思う動画を自己選択した。（図2）
- ・その後、ロールプレイによりソーシャルスキルの定着を図った。ロールプレイの様子を動画で撮影・視聴して、客観的に振り返ることができた。
- ・児童が通っていた保育園とリモートでつないだ。児童が年長の時に担任だった保育士から、活動への評価をもらったことで、児童の達成感や次時への意欲を高めることにつながった。（図3）幼保小連携の新しい形として、保育園側からリモートでの授業参観について評価していただいた。単元の終末には、ソーシャルすごろくに取り組み、スキルの定着について確認した。

のびのびタイムふりかえり(名前)		できた	まあまあ	もう少し
学習すること	めあて (じぶんでえらんで○をつけよう)	ぜん ぜん と	ひとり で う ま く	みん な で
11/29	「こまったときのアイテムをゲットしよう」をしる。	○	○	○
11/30	「ソーシャルすごろくのルールをしる。」	○	○	○
11/31	「こまったときにどうしたらいいかやってみる①」	○	○	○
12/1	「こまったときにどうしたらいいかやってみる②」	○	○	○
12/2	「ソーシャルすごろくをする。ふりかえりする。」	○	○	○



図1 ふりかえりシート

図2 モデリング動画

図3 保育園からの評価（リモート）

- ・他教科でも児童に選択させたり自己の考えを修正させたりする場面を増やしていきたい。また、そのような場面での、適切な教師のかかわり方も模索していきたい。
- ・低学年の児童でも学習ログを共有、活用できるような授業展開にしたい。そして、児童自らめあてや学習内容の選択ができるようにしていきたい。